

「食」と「健康」の学習会 2024年3月16日(土) 小郡地域交流センター

考えよう 日本の「食」と「健康」——「のぞみ」はなくても「ひかり」はある

「安心安全な食を子どもたちに」

生物文化多様性研究所 安溪貴子・安溪遊地

(メール a@ankei.jp facebook もやっています。)

コロナのパンデミック、ウクライナ、パレスチナ、そして能登半島の地震

近ごろは、胸が痛いことばかりですね。でも、できることはいろいろあります。その手がかりとして、私どもの暮らしからご紹介します。

今日のお話は3つ

1) いま食べ物は大丈夫？

子どもたちの食べ物、健康が心配

——食品添加物、除草剤、農薬、遺伝子操作食品・・・

食料は自給できるの？ もしも輸入できなったら？

2) 有機給食は可能。世界で、日本でも、始まっている取り組み

——千葉県いすみ市の資料から

ここから、子どもたちのために、地域がつながり、仕事生まれ、地域を知ることが、地域の持続的な暮らしが、地域の未来が生まれる

3) いま山口でできること：あしもとから、自給的な暮らしを、楽しく！

本日の発表のファイルは、以下からダウンロードできます。

QRコードに、スマホのカメラを当てて読むこともできます。

<https://ankei.jp/yuji/?n=2849>

